



DICにおけるGREEN eBASEの 利用事例のご紹介

2014年10月8日(大阪)

2014年11月5日(東京)

DIC株式会社

レスポンシブルケア部

赤真正人

Color & Comfort by Chemistry



DIC



製品情報 危険有害性情報 規制物質含有情報 法規制情報 等 の伝達



異なる要求レベル

異なる風土・価値観

各事業部門が
個別知識で対応

異なる該当法体系

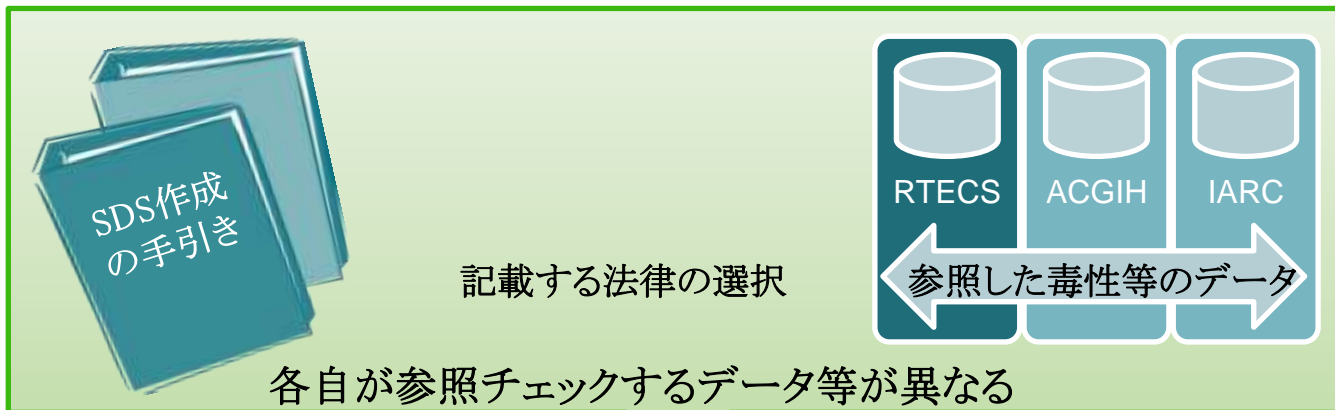
樹脂

顔料

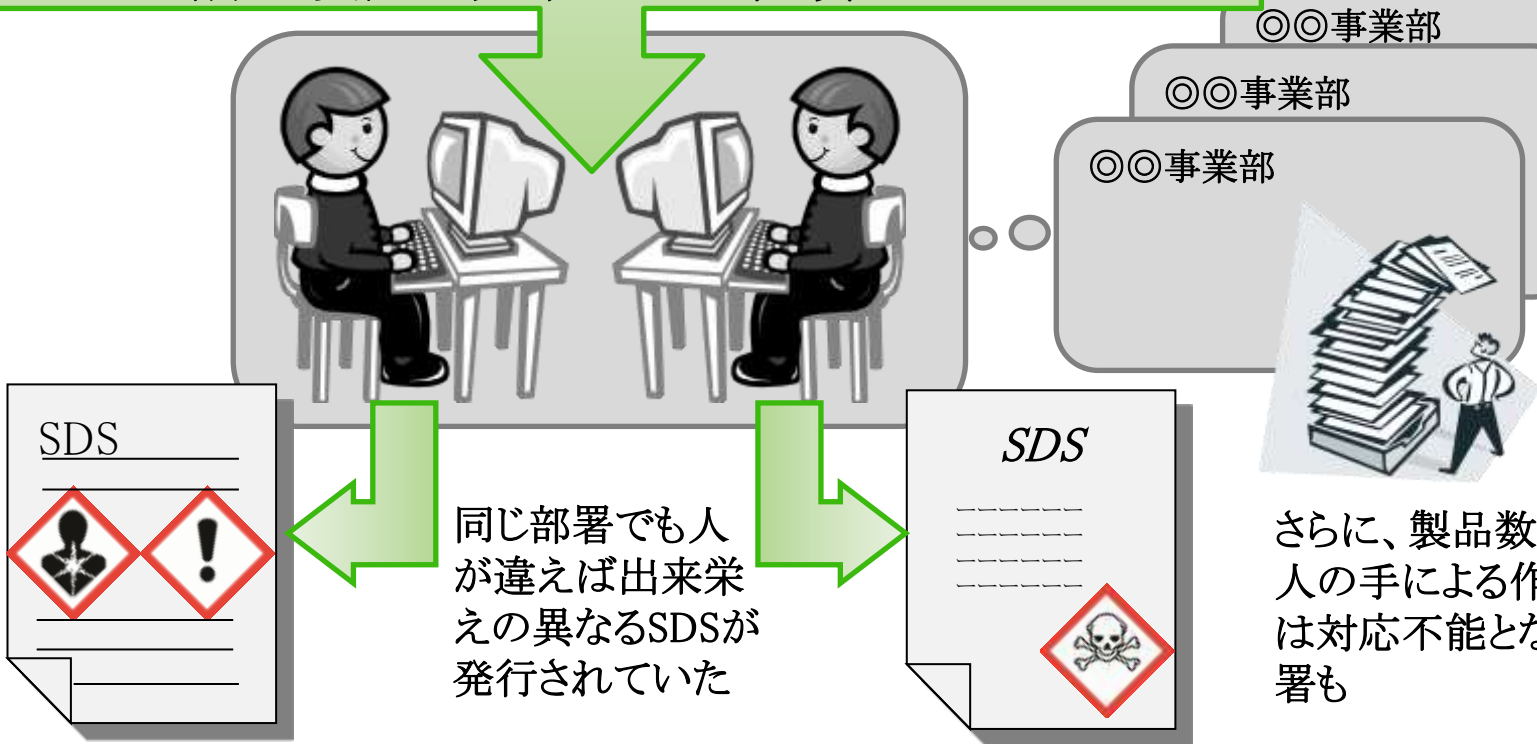
20世紀のDIC



何とかしないと...



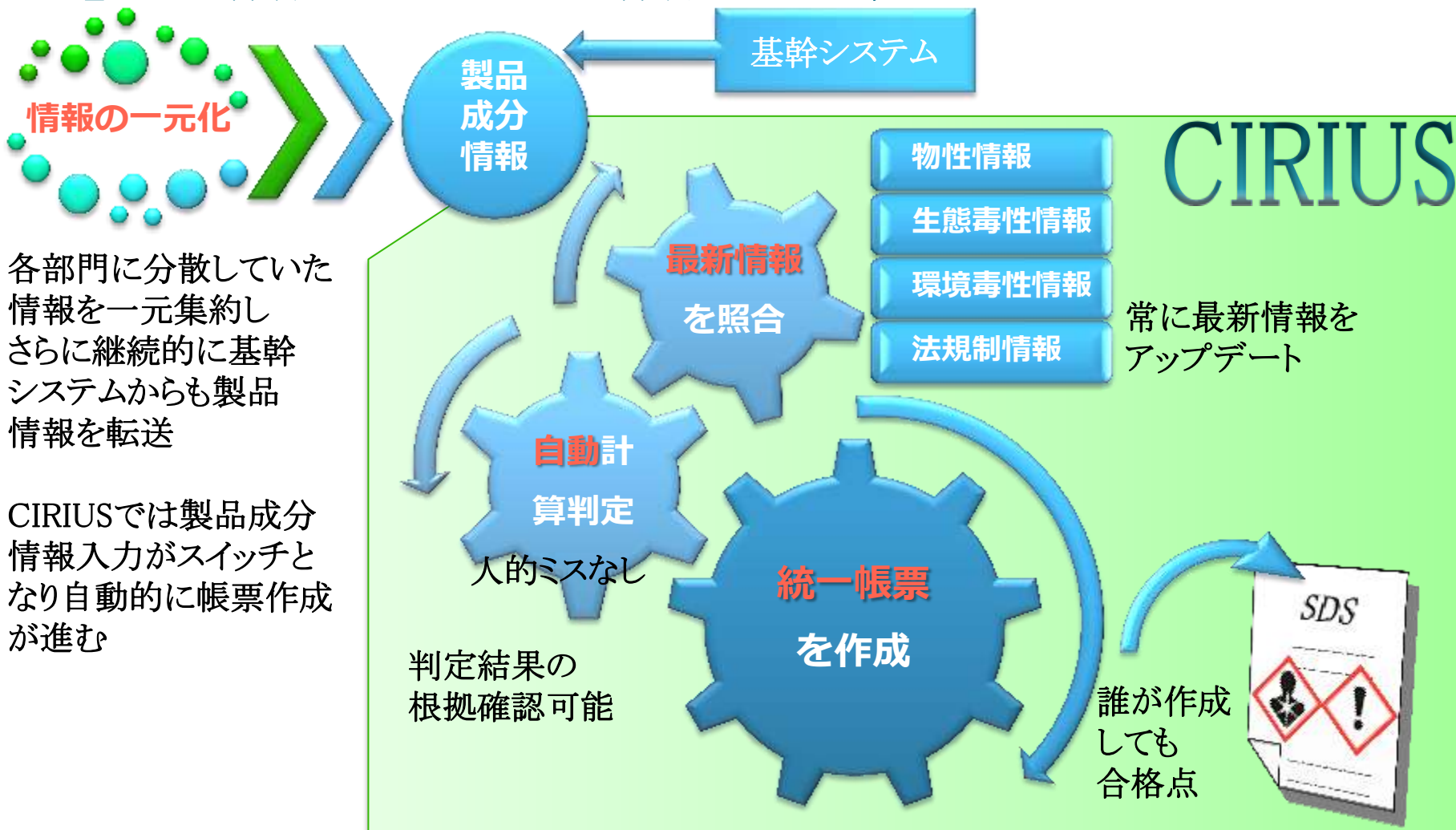
部署により書式が異なり、同一会社のSDSに見えない



さらに、製品数が多く人の手による作成では対応不能となる部署も

21世紀のDIC

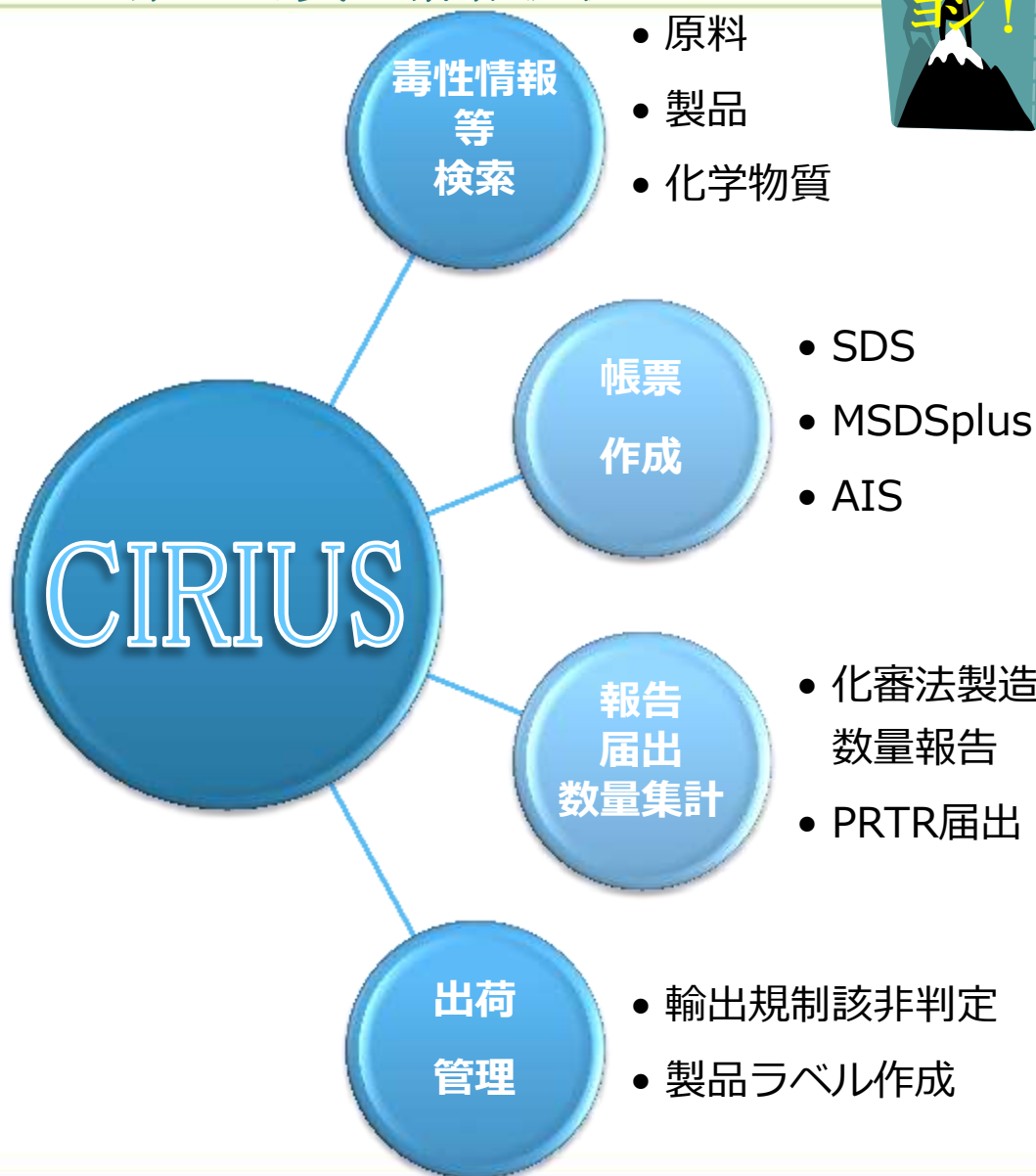
👉 帳票作成までの全ての作業を自動化



各部門に分散していた情報を一元集約しさらに継続的に基幹システムからも製品情報を転送

CIRIUSでは製品成分情報入力がスイッチとなり自動的に帳票作成が進む

正確で均質な情報提供へ



- ▶ 当社製品・取扱い原料およびこれらに含有される化学物質についての情報(毒性、物性、インベントリー、等)検索
- ▶ 当社製品の帳票(SDS、MSDSplus、AIS)を作成
- ▶ 扱い原料の帳票(SDS、MSDSplus、原材料調査表)を登録
- ▶ 基幹システムの数量データを照合し、化審法製造輸入数量やPRTR届出数量の集計を実施
- ▶ CIRIUSから輸出出荷システムに規制情報を転送し輸出規制品を管理
- ▶ CIRIUSからラベル情報をラベル作成システムへ転送

メンテナンス・・・システム/マスタ

基幹システム



それぞれのシステム・マスタに
最適の部署/担当者が維持管理
最新状態を維持



製品
成分
情報

物性情報

生態毒性情報

環境毒性情報

法規制情報



出荷
情報

顧客情報

仕向地情報

その他



書式や入力システムの変更
がづらい。
特に自分でコントロールで
きない変更があったとき。

JAMP対応・・・最新状態の維持(1)

私がトレースできる更新に限定しています。
実際にはもっと多数回更新されています。


	入カツール	物質リスト
2008	Version 3.0	
2009		
2010	Version 3.1	Version 2.040
2011	Version 3.1b	
2012	Version 4.00	Version 3.010, Version 3.020
2013	Version 4.0a	Version 4.000, Version 4.010
2014	Version 4.1a	Version 4.020, 12月にもう1回

バージョンアップの都度、システム改修が必要になるんです。
大改修になることもあって、とても手が回りません。
もっと得意な人にやってもらいたいです。



GREEN eBASE導入・・・最新状態の維持(2)

DICは2013年に
GREEN eBASEを導入しました。
導入後1年を経過して、
使用勝手も上がっています。



基幹システム

製品
成分
情報

- 物性情報
- 生態毒性情報
- 環境毒性情報
- 法規制情報

CIRIUS

出荷
情報

- 顧客情報
- 仕向地情報
- その他


成分情報

AIS
MSDSplus

GREEN eBASE

JAMPシートの作成

JAMPツール・リスト更新による改修から解放されました。今ではCIRIUS本来の機能のメンテに注力しています。




GREEN eBASE導入の効果

- JAMPバージョンアップ時の省力化／時短
 - システム担当者の省力化
 - タイムリーなJAMPバージョンアップへの対応
 - お客様への迅速な新バージョンシートの提供



DIC株式会社は、これからも適切な含有管理化学物質情報のご提供を続けてまいります。

